

資料2

呉春筆「渡月橋図」蕪村賛

花影上闌干山影入門

…王安石「夜直」より

などといふはすべてもろこし人の  
奇作なりされどたゞ一物を  
うつしうごかすのみ我日のもとの  
はいかいの自在ハ渡月橋にて

月光西にわたれば

花影東に歩むかな

夜半亭蕪村□□（「長庚」「春星」朱白文連印）

扇面「静然上人図」賛

西大寺の静然上人腰かがまり

西大寺、奈良の古寺。真言律宗本山。

眉しろくまこととしたけたる

有さまにて内裏へまいられたり

けるを西園寺内大臣あなたうと

西園寺實衡

のけしきやとて信仰のきそく

ありければ資朝卿これを見て

日野資朝。のち中納言。後醍醐天皇蜂起の科で

としのよりたるに候とや申されけり

佐渡島に流刑。元弘の乱で処刑。

後日にむく犬のあさましくをひ

さらばひて毛はげたるをひかせて

此けしきたうとく見え候とて内府へ

まいらせたりけるとぞ

蕪村書□（「春星氏」朱字方印）